

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3770102485
法人名	医療法人社団康生会
事業所名	グループホーム暖暖
所在地	香川県高松市室新町1-8 (電話) 087-815-1231

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成19年9月25日	評価決定日	平成19年12月13日

【情報提供票より】(19年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 15年 7月 1日
ユニット数	3ユニット 利用定員数計 27人
職員数	22人 常勤 13人、非常勤 8人、常勤換算 6.7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り 4階建ての2階 ~ 4階部分
------	------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	日額 1,500円	その他の経費(月額)	1日 350円	
敷金	有()円	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250円	昼食	500円
	夕食	500円	おやつ	0円
または1日当たり 円				

(4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	27名	男性	3名	女性	24名
要介護1	2名	要介護2	10名		
要介護3	7名	要介護4	4名		
要介護5	4名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.1歳	最低	69歳	最高	100歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高松大林病院、栗林病院、前田病院、大塚歯科医院
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、旧市の住宅街で幹線道路に面したところにあり、4階建ての2階から4階の各階が1ユニットとなっている。栗林公園、スーパーマーケット共に、徒歩で訪れる範囲内にある。建物の裏側に畑があり、季節の花や作物、紫雲山の景色と自然が手近である。
ゆとりのある空間、生活時間、生活行動範囲については、入居者の意思と生活ペース、趣味を活かす生活を支援している。また、母体である医療法人の強力なバックアップがあり、管理者のリーダーのもとに、職員、入居者、家族が信頼感を寄せている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>救急時の応急手当については、消防署よりの訓練に応じる旨を得ている。母体の医療機関の終日の見守りと指示により、対応している。地域密着型の事業所のあり方については、困難な条件もあるが、努力し、模索中である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員が参加しての自己評価作成であるので、自己評価への意義と関心は高まっている。具体的な改善点を共有し、取り組むのはこれからである。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事業所の概況、事業内容の報告、及び予定等の報告が中心である。各ユニットごとの詳細について説明を行い、より細かく、より具体的に、事業への理解を深めることに努力が注がれている。事業所への期待項目への発言や、会議のよりよい機能への意見も出され、現実に活かせるのは今後である。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時間を自由に設定し、本人、職員との会話から得られる意見、不安を聞きとることに全職員は努力している。また、そこで得られたものをユニット会議に挙げて、対応されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>日常生活での外出で、地域との交流の機会ももたれている。運営推進会議の意見から、連携を活かせる手がかりもみられている。今後、日常生活での交流と共に、連携が確認されていくだろう。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	パンフレットに掲げられている「家庭的、明るく、一人ひとりを大事に」、サポートを大事にしている。「地域住民」との交流については、入居者が近距離の地域範囲での居住者ではなかったこともあり、交流への工夫に苦心しており、理念を明確に作りあげるまでには至っていない。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスの討議の原点として、また、日常的な管理者からのアドバイスにより、取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域活動に参加すべく、自治会長等からの情報収集や打診を試みているが、打開策は得られていない。日常生活において、散歩や買物で、商店や文化財を利用され、交流に努めている。	○	日常生活では地域への外出を支援しており、地域の一員としての地域活動参加には努力しているが、至っていない。運営推進会議の内容が発展することにより、実現への手掛かりを見つけたて欲しい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価作成は、各ユニットでリーダーがまとめて行ったものである。結果のフィードバックや討議は、時間的な点から、今後に残されている。	○	評価記述に全職員が参加し、評価事業と評価結果に関心が向いている。全職員で、評価の結果を討議し、具体的な改善点を共有し、取組んで欲しい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の内容は全職員に報告されており、職員からも会議のあり方への積極的姿勢がみられる。会議では、事業状況の理解を深めるための情報提供が中心となっている。また、研修会等の開催要望が提示されており、地域とのつながりへの取り組みのヒントが与えられている。	○	運営推進会議は定期的開催し、構成メンバーにも配慮されている。現状は、まず事業所への理解を深めることに注がれているが、内容は、より良いものへのあり方について方向を変えたい意向もみられた。サービス向上への意見が出されるように望みたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市より、研修等への連携の要請が寄せられることが多い。広義では、サービスの質の向上のための人材養成に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	各ユニットごとに作られた「たより」を送付している。自由な面会時間の設定時に、報告、会議を試みている。小遣いの預かりは、預り金の補充を必ず持参してもらうこととして、個々の報告の機会としている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書への記載、目安箱と記入用具の備えがあり、面会時に家族からの声を会議に報告し、協議している。行事参加は、家族同士の会話の機会となっているが、家族だけの話し合いの機会は設定されていない。申送り書には、家族の意見、不安を記述し、内容だけではなく、対応方法も記述し、他の職員に引き継がれるようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動の際は、利用者との関係を考慮している。また、家族には説明している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修受講者は伝達研修を行い、共有化しており、自主研修の重要性の意義について伝えられている。管理者は実施の場面で、その都度アドバイスをしている。また、実践的研修の機会が増すことを考えて、職員の増員が考えられている。疑問等が生じた場合は、管理への相談や助言により、職員は育てられている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業者、研修機関より受入れに応じている。職員からは、同事業所の状況把握の希望が強く、個人的に取り組んでいる職員もいる。取り組みとしては、今後、見学の機会の予定が考えられている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	申込時に訪問調査、説明を行っている。定員の状況より、受入予想が困難であるので、具体的な作業を継続的には行っていない。申込時から入居までに期間があることが多く、状況変化もあるため、入居時には説明、納得のうえ行っている。入居後1か月ぐらいは、生活の馴染み状況を確認しながら、家族とも相談のうえ、利用を進めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	同じ食卓で一緒に会話し、楽しく暮らしている。会話のなかには、相談ごとを持ちかけられたりするが、その中に、人生の過ごし方や家事の技術を教えられる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	あらかじめ献立はあるが、希望が出ると、急きょ変更しての食材購入に出かける。嫌いなもの、食べたくないものがあると、本人の希望にあわせて、おかずを変えたりする。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見を含めたユニット会議で案を作成し、職員会議にて、介護計画を決定している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月に一度、定期的に見直しをすすめるため、一年間を通して、作業予定を組んでいる。また、日常の状況変化や対応に気づいたことをユニット会議にあげ、柔軟に検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	母体の医療機関、居宅介護事業所との連携を活かした支援を行っているが、事業所における機能の多機能性を活かす組織には至っていない。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望するかかりつけ医とのつながりを尊重している。家族が付き添い、受診を原則としている。母体医療機関とは、定期的往診、24時間の見守り対応がされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所としての指針は作成されている。家族の希望により、看取りの例もあり、職員は貴重な体験をしたが、入居者に話し合いをする段階にまでは至っていない。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は言葉かけ、態度には自尊心、プライバシーを損ねるようなものはみられない。記録の閲覧、個室の見学等にも配慮されている。毎日の個人記録の置きっぱなしが散見されたが、気づいた職員が対応していた。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間、食事の時間、入浴の時間など、個人のペースや選択に合わせて支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	素材の購入、調理の手伝い、下膳などの力を活かして、共に作業をしている。また、食器は個人持ちや共有など、好みによっている。献立に盛られたもの以外に、香物等が自由に摂食できるような食卓になっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜、再度の入浴希望がある場合は、その都度支援するなど、希望に沿っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	楽しみとして描いた絵が壁を飾り、鉢植えが棚やコーナーに置かれ、ホームに彩りを添えている。また、敷地内の畑での野菜づくりの成果を、生活に活かしている。入居者の中には、楽しみを取り戻してから、見違えるように生き生きとした生活に変わった人もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣的美容室やスーパー等への買物、散歩等は、希望ある限り、外出支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	すべての箇所に施錠しないことを、当然としたうえでの支援を実施している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、消防訓練を実施している。運営推進会議上でも説明しているが、地域との連携にまでは至っていない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスは栄養士に指導を受けている。毎日の個人記録に食事、水分の摂取状況をチェックできている。不足気味の人には、補助食品等を把握し、確保に努力している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木質の建具、家具でしつらえられているので、落ち着いた気持ちになる。テレビのつけ通しもなく、落ち着けている。居間、ダイニング、畳コーナー共に十分な空間があり、ゆったりと動いている。また、季節の花が洗面コーナーに活かされている。ソファーにかける人、畳コーナーでは、新聞を広げて話しこんでいる二人組の方がみられた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室ともに、備え付けのベッド、物置も兼ねたクローゼット以外は、好みでしつらえられている。好みのカーテン、布団、十分使い込んだダンス等、個々の選択によるものが置かれている。		